

伊賀市社協だより

令和5年4月1日発行

No.205
4月号



「伊賀市を生活上の課題をもつ人が
日本一少ない町にする」をめざして
地域づくりを応援します!!

令和5年度
地域福祉コーディネーター



藤森 由香里



中西 正敏

宇佐美 理絵

山本 哲士



吉田 文江
(スタッフリーダー)

市川しのぶ



一見 俊介
(ファンドレイジング
マネージャー)

篠田 梨央

真島 健太

中森 研
(地域支援課長)



末廣 紀子



中川 健太郎

恒岡 三恵



※それぞれ所属する地域センターを示していますが、
地域を超えて支援する場合があります。

平時から災害時に備える地域に

■中瀬地域住民自治協議会 防災活動の取り組み紹介



住民アンケートからみえた一番の不安「**災害時への備え**」に対する、対策の展開

中瀬地区には、約1,500戸3,000人が住んでいます。「中瀬ふくしネットワーク会議」では、令和元年に住民意識調査を実施し、住民が「災害支援」「子ども」について課題や不安に感じていることがわかり、まずは災害対策に取り組むこととしました。

課題としては、地区内に服部川があり、災害時の浸水想定区域が指定避難所にも及ぶこと、区長が一時立ち寄り所で住民の状況を把握しづらいことや、消防団活動が活発で住民の防災意識は高いものの、実際の避難訓練ができていないことなどがありました。また、アンケートからは、避難所に来れば、避難物資など何でも用意されていると認識している人も多いことがわかりました。

そこで、それぞれが日頃から備えておくことで3日間は生きのびられるようにすることを目標に、災害に強いまちづくりに取り組み始めました。

H25～

万が一の、緊急時に備える
自助の取り組みを支援

中瀬地区では、平成25年に地区で配布して以降、民生委員児童委員活動として、見守り支援が必要な方に、緊急時に備えての医療情報キット「わたしの安心シート」の更新を支援をしています。

訪問時に、緊急連絡先や医療情報に変更があった時の更新の記入支援や、保管場所は冷蔵庫であること、冷蔵庫の扉の前にステッカーを貼っていただきたいことなどもお伝えしています。



R1～

地域行事に防災視点をプラス
避難誘導をスムーズに

他県での災害対策への視察からヒントを得て、地区運動会のプログラムに車いすリレーを導入しました。地区在住の福祉関係者から車の操作や介助方法等を学ぶなど、無理なく体験できる仕組みを取り入れていきます。



R2

避難所運営ゲーム「HUG」
・段ボールベッド設置体験

自治協の生活部会や区長と消防団で、避難所の運営や、避難者対応の模擬体験をするカードゲームをしました。「猫と一緒に避難」「遠方から来た観光客」などの避難者情報を書いたカードへの対応を、メンバーで協議しながら工夫して避難所平面図に配置しました。





他地区の取り組みを参考に、緊急医療キットの情報を互助・共助の活動に繋げるために、「防災・わが家の安心シート」による世帯状況の把握をはじめました。シートには既往歴や常用薬、支援に必要な情報などが書き込め、区長と自治協が1部ずつ適切に保管しています。



R3~

災害時、避難行動に必要な支援情報を地域内で共有

R4

共助活動をスムーズに行うための、防災備品を整備

各区で要支援者の避難誘導や、災害活動や支援物資の搬送など共助の活動をスムーズに行うために、各区の公民館に、担架やリヤカーなどの災害時備蓄品を配備しました。実際に、リヤカーに人を乗せて訓練する地区もあります。



R3~

防災情報や避難行動要支援者をマップ上で確認

区単位で自治協の生活部会と消防団が協力して、防災情報や支援が必要な人の避難支援マップを作成しています。危険箇所、避難経路、避難場所、要支援者の情報等を地図上で確認しておくことで、いざという時の行動がスムーズになります。令和3年からは、「防災・わが家の安心シート」の情報をもとに作成し、シートと共に3年毎に更新することにしました。

R4

避難所運営マニュアル策定につなげるための想定訓練

今後作成予定の「避難所運営マニュアル」に向けての避難所運営のイメージ共有として、自治協の生活部会や区長、消防団が、避難者への対応や避難所内で直面する問題の想定訓練を行いました。



随時

各区での災害時支援協定

地区内で生活物資や災害時に支援協力いただける企業が、所在している区と災害支援協定を締結するなど、身近な地域での備えを進めています。

地域活動に防災の視点を



中瀬地域自治協の事務局長に就任して5年目となる葛原一彦さんは、「アンケートで把握した課題や視察で学んだことなどは、すぐに実践することが大切。地域には様々な『役』があり、就労している人が多い中で負担も多い現状もあります。地域には、特技のある人や医療や福祉など、様々な分野で活躍している人や企業など、多様な人や資源があります。今後は地域活動に防災の視点を取り入れ、様々な人が関われる接点をつくりながら、地域全体で防災対策に取り組んでいければ。」と話してくださいました。

生活課題の把握や対策活動を支援

中瀬地区では、これまでの取り組みを踏襲するだけでなく、今の暮らしや将来の不安を知る住民アンケートを実施し、そのアンケート結果を真摯に受けとめることから始めました。そこから4年間で防災の取り組みが大きく進みました。今後は若い人たちのアイデアが活かされる楽しい取り組みにも期待しています。(R4年度担当地域福祉コーディネーター 中西正敏)



中西正敏

令和5年度

赤い羽根共同募金



配分事業募集

地域福祉 団体活動 助成

助成対象団体

地域福祉に取り組む当事者組織、ボランティア・市民活動団体、地域団体（住民自治協議会、自治会等）
※繰越金が助成基準額を超えている団体は対象外

助成金交付の申込

交付申請書に必要書類を添付して、令和5年4月28日（金）までに、伊賀市社協各地域センターまで提出してください。要綱および申請書は、伊賀市社協ホームページよりダウンロード可。

伊賀市共同募金委員会審査委員会で審査の上、配分金の実績に応じて助成額を調整して決定します。

助成対象事業

①活動備品購入事業

団体の基盤強化を図るための器具備品の購入助成

▶助成基準額／15万円以内

※一般普及備品や防災・社協貸出対応備品は不可、設置場所により半額助成など別途基準あり。

②研修・学習活動推進事業

団体の研修及び学習活動の福祉教育推進のための講師謝礼並びに交通費に関する助成

▶助成基準額／講師謝金・交通費 それぞれ3万円以内

③地域交流支援事業

地域の交流を推進し、活性化させるために必要な交流事業に対する一部助成

▶助成基準額／講師謝金もしくは会場及び機材使用料 3万円以内



社協は、身近な地域の居場所づくりを支援します。

ふれあい・いきいきサロン

①孤立（孤独）



②認知症



ふれあい・いきいきサロンは、住民自治協議会、地区社協、自治会、ボランティア、当事者組織等、地域住民が主体となり、地域の福祉コミュニティづくりとして行う地域の居場所づくりです。

◆いきいきサロン

高齢者や障がい者が集まり、ふれあい交流を図る場づくり



◆コミュニティカフェ

地域の集いの場、話の場づくり



◆子育てサロン

未就学児とその親が共に参加し交流・相談活動を行う場づくり



◆子どもの居場所

地域で子どもを見守り、育てていく場づくり



- 実施会場／公民館、市民センター、学校の空き教室や個人宅等多様な形態を認め、地域の実情に応じて、参加者の集まりやすい場所を利用して実施
- 開催頻度／月1回程度実施（最低年間8回開催は必要）。
※新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、少人数、屋外サロン、電話、訪問型サロン、広報発行、オンラインなど工夫しての実施も可
- 参加者／概ね1回あたり5人以上
- 申請期間／4月14日（金）までに、助成金交付申請書・実施計画書・収支予算書を、伊賀市社協へ提出

お問合せ・お申し込み先 伊賀市社会福祉協議会 各地域センター

ボランティア活動保険 ボランティア行事用保険

ボランティア活動保険

ボランティア活動中や活動場所への往復の途上のケガや損害など、万が一の事故を補償する保険です。※ボランティアセンター登録が必要。



【対象となるボランティア活動】

日本国内における、自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動※実費弁償の支給は可

【年間保険料】基本プラン／350円
天災・地震補償プラン／500円
特定感染症重点プラン／550円

【補償期間】

加入日の翌日～翌年3月31日まで

●ボランティア行事用保険

地域福祉活動や、ボランティア活動の行事における、主催者や参加者のケガ、主催者の賠償責任を補償します。



【加入できる団体】

福祉等に従事する非営利団体、ボランティア団体等の市民活動団体

【対象となる行事】

地域福祉活動やボランティア活動の一環として国内で行われる各種行事

【補償金額と保険料】

行事内容によって異なります

【問い合わせ・加入申込先】

伊賀市社協各地域センター

福祉・保育のおしごと相談

福祉・保育の仕事に興味のある方、就労をお考えの方「どんなお仕事?」「資格や取得方法は?」「求人情報を知りたい」など、お気軽にご相談ください。(予約優先)



【日時】毎月第二月曜日

午後1時～3時30分

(4月17日、5月15日、6月19日、7月24日※、8月21日、9月25日※、10月16日、11月20日、12月18日、1月15日、2月19日、3月18日)

※は第四月曜

【場所】ハローワーク伊賀

四十九町3074-2

【予約・問い合わせ先】

三重県福祉人材センター

☎059-224-11082

伊賀市社協 人事異動のお知らせ

令和5年4月1日付(課長級以上)

統括マネージャー 福永悦子

統括マネージャー兼総務課長

内田 崇之

業務課長 山邊 佳世子

伊賀市社協通所介護事業所 終了のお知らせ

「愛の里デイサービスセンター」および「地域デイサービスセンター」の里は、令和5年3月31日をもって、介護保険事業としての通所介護事業を終了いたします。愛の里は、平成9年よりいがまち保健福祉センター内において、いがまち地域の高齢者福祉サービスの重要な拠点として事業を展開し、岳の里は、平成28年4月より開所し地域密着のデイサービスとして利用者やご家族に親しまれて参りました。残念ながら、職員確保が困難などのやむをえない事情や設備の老朽化などに伴い、介護保険の事業は終了に至りました。

社協として、周辺の他事業所や社協の事業所などへ移管を鋭意進めてまいりました。また岳の里では、4月以降も地域生活支援事業として、入浴サービスや食事提供サービスを継続する新たな事業に移行いたします。新しいデイサービスや施設で介護保険サービスをご利用いただく方には、社協として終了後もお悩みやご相談をお受けする体制を取り、精いっぱいフォローアップをしてまいります。ご理解、ご協力をいただいた地域のみなさまやケアマネージャーの方々に、心からの感謝をお伝えするとともに、長年のご愛顧に深く感謝を申し上げます。

社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会

国土交通
大臣認定

「移動・送迎サービス運転協力者講習」 「セダン講習」受講者募集!!

- 令和5年度第1期講習!!
- 定員30名(定員になり次第締切)

令和5年5月13日(土)・14日(日)8:30～17:30
いがまち保健福祉センター「愛の里」(伊賀市愛田513)

2日間の受講
が必要です

◎移動困難



受講料
(資料代を含む)

伊賀市・名張市在住在勤の方 10,000円
その他の方 12,000円

申込・
問い合わせ先

いが移動送迎連絡会事務局(伊賀市社協内)
☎33-0064・FAX21-8123

※申込用紙は伊賀市社協各地域センター窓口設置または
FAXで送付、伊賀市社協HPからダウンロード可



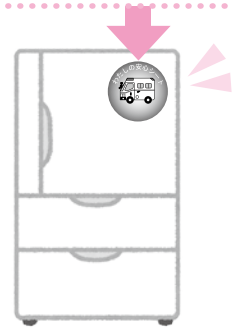
冷蔵庫に
入っていますか？
「わたしの
安心シート」



持病は？
家族や連絡先は？



★おねがい★「安心シート」
を冷蔵庫に入れたら、扉部分に
ステッカーを貼ってください。



「わたしの安心シート」は、あなたの医療情報をまとめ、
容器に入れて冷蔵庫に保管し、万一の救急時に備えるものです。

伊賀市社協では、冷蔵庫に保管し、もしもの時にあなたや
ご家族の命をすばやく救うための情報ツール『わたしの安心
シート』の利用をお勧めしています。

伊賀市消防本部でも、救急出動の際には『安心シート』の
有無を必ず確認していただけるほど、広く浸透してきました。
しかし、せっかく冷蔵庫の中からシートを取り出しても、中
身が記入されておらず白紙のままであったり、連絡のつく人
の携帯電話番号が現在使われていなかったりといった、残念
な事案もあるようです。

春は進学や就職、転勤などで生活環境が大きく変わる季節
です。もう一度、あなたの『安心シート』を点検してみても
いかがでしょうか・・・

※わたしの安心シートは、
伊賀市社協ホームページから
ダウンロードできます。

伊賀市社協 わたしの安心シート



★安心シートは、社協の各窓口でお渡
しできます。

★シートには、緊急時に連絡がつく人
(できれば2人以上)の電話番号と、
お薬情報、現在かかりつけの病院名
等をご記入ください。

★『安心シート』を冷蔵庫に入れた後、
忘れずに扉にステッカーを貼り、
「万一の際に開けて確認してほしい」
という、意思表示をお願いします。

この事業は、社協会費が一部活用されています。

広告 三重県共同募金会 伊賀市共同募金委員会からのお知らせ

令和4年度

赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金 実績報告



令和4年度 募金実績

	赤い羽根 共同募金	歳末たすけあい 募金
上野	6,815,708円	4,346,515円
伊賀	937,347円	653,850円
島ヶ原	381,194円	224,750円
阿山	958,866円	565,350円
大山田	1,309,543円	372,350円
青山	781,835円	663,840円
合計	11,184,493円	6,826,655円

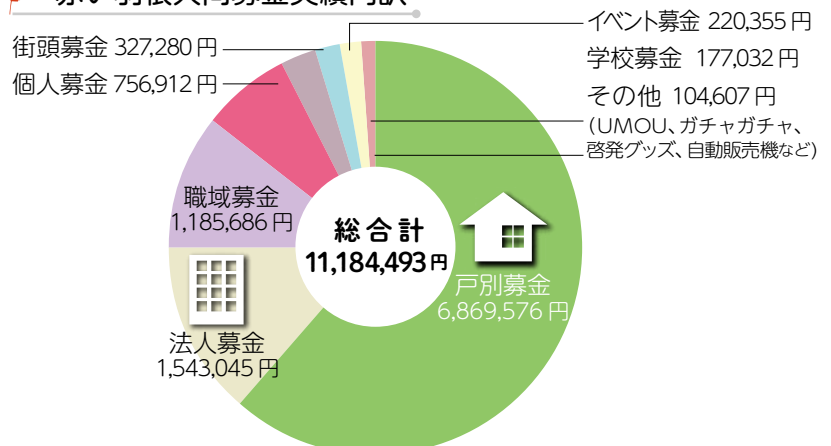
令和4年度「赤い羽根共同募金運動」並びに、「歳末たすけあい
募金運動」に、市民のみなさまのあたたかいご理解ご協力をいた
だきましたことを、厚く御礼申し上げます。

ご協力いただいた募金は、一旦三重県共同募金会に集められ、
社会福祉協議会をはじめ、福祉施設、ボランティア団体等に配分
され、さまざまな福祉活動の財源として活用されます。

また、歳末たすけあい募金は、社会福祉協議会を通じて、令和4
年度の年末年始の食事サービスや世代間交流事業、歳末見舞品等に
活用させていただきました。誠にありがとうございました。

三重県共同募金会伊賀市共同募金委員会 会長 松井 謙二

赤い羽根共同募金実績内訳



赤い羽根共同募金 法人募金・特別募金寄付者のご紹介
 (掲載許可をいただいた方を、敬称略・順不同で紹介)

●上野エリア

【法人募金】(有)ヘアーサロンスギシマ・(株)やまぐち・(有)上野コンタクトレンズセンター・念佛寺・(医)清水眼科・余野部建材(株)・中近向井工業(株)・伊賀ふるさと農業協同組合・(株)中里工務店・(株)ミエ安全・上野ハウス(株)・伊賀上野ケーブルテレビ(株)・(有)いせや・岡森薬局・山森電気設備(株)・法音寺上野支院安立寺・(株)伊賀自家用自動車会館・大同建設工業(株)・三重県組紐(協)伊賀くみひも組匠の里・(株)福田豊工務店・上野ガス(株)・上野都市ガス(株)・(医)畿内会岡波総合病院・(有)藤田印刷所・三重プロパン(株)・(株)寿被服・(医)森川病院・(株)エフセディ上野事業所・(有)平井兼蔵商店・大成化薬(株)・(株)ダイニンテック上野工場・(株)立川ピン製作所・(株)ナック・(特非)デイスサービスお花畑・(株)メイトック・(特非)えん・(有)上山ネット張所・奥中建設(株)・(株)川口組・滋賀近交運輸倉庫(株)三重支店・マルヨ興産(株)・マルカサヤバチ(株)・(株)小川モーターズ・浄久寺・日産プリンス三重販売(株)上野中瀬インター店・松尾化成工業(株)・(株)高山化成・日新舗装(株)・(株)伊賀交通・森本精密シャフト(株)・サラヤ(株)伊賀工

●いがまちエリア

場・錦城護謄(株)・三重中央開発(株)・岡八幡宮・(株)クボタグローバル技術研究所緊急開発業務部二川原様・森下弁柄工業(株)・(有)アート工房・ネットトヨタ三重(株)上野店・(株)木宮・フタバ器械(株)・佐那具医院・(個人(特別))中川喜晴・稲濱博一・西田誠・宮本賀・藤森健次・山本敏子・上田通雄・上荒木いきいきサロン・サロンひまわりの会・大矢孝臣・匿名8件

【法人募金】(株)サイセイ・中橋自動車商会・伊賀市商工会・(株)共同技術コンサルタン

ト・(株)三十三銀行伊賀新堂支店・佐那具支店・伊賀産業(株)・ヤマギシズム春日農事組合法人

●島ヶ原エリア

【法人募金】(株)三十三銀行島ヶ原支店・(有)菅山製作所・(株)丸末島ヶ原カントリークラブ・大淀化成工業(株)・(株)マルヤマ・(株)トーマイレジファ・正月堂観音菩提寺・天理教島ヶ原大教会・鷗宮神社・(株)島井組プラント・一般財団法人しまがはら郷づくり公社・(株)エム・シー・エス

●阿山エリア

【法人募金】忠央窯・長谷製陶(株)・(株)ジェイテクト伊賀試験場・(有)土桑・(株)秋本天産物・(株)スガナミ阿山工場・(株)アヤマ電子工業・デイスサービスたまき・松谷荘・和興舗道(株)・ボディショップ服部・育任建設(株)・木田バルブボール(株)阿山工場・三栄工業(株)・山本建設(株)・中山建設(株)・

●大山田エリア

阿山物産振興協同組合・河合診療所・木村和楽器製作所・(特非)デイスサービスともだち・小倉歯科医院・桑原工業(株)・阿山建設(株)・山崎自動車・(株)オートセインターモリエコワールド事業部・(株)日本ハウスウッドワークス中部・(株)伊賀産業

【法人募金】あずま診療所・(有)阿山自動車工業・阿波無線(株)・イタニアルミ(株)・伊山瓦協業組合・(有)川口石油店・(株)三平・大陽日酸JFP(株)三重工場・(有)西尾製材・西尾石油店・日本精工硝子(株)・

広島自動車商会・(株)富士製作所・(株)マツザキ・三重県酒米協同組合・モリテックスチール(株)三重大山田工場・モリマープレミックス(株)・(有)山城屋大薬房

【個人(特別)】松崎壽和子・田中宏明・匿名4件

●青山エリア

【法人募金】ダイジエット工業(株)三重事業所・(株)セイオー技研・富嶋歯科医院・すりもと・ちゃちゃまる・福岡設備工業(株)・西村木材工業(株)・ポワール宇和佐・旭電機化成(株)青山工場・中西久建設(株)・正興印刷(株)・城医院

【法人募金】ダイジエット工業(株)三重事業所・(株)セイオー技研・富嶋歯科医院・すりもと・ちゃちゃまる・福岡設備工業(株)・西村木材工業(株)・ポワール宇和佐・旭電機化成(株)青山工場・中西久建設(株)・正興印刷(株)・城医院

【法人募金】ダイジエット工業(株)三重事業所・(株)セイオー技研・富嶋歯科医院・すりもと・ちゃちゃまる・福岡設備工業(株)・西村木材工業(株)・ポワール宇和佐・旭電機化成(株)青山工場・中西久建設(株)・正興印刷(株)・城医院

広告募集中!



「はじめよう!新しい自分」

サポステはあなたの「働く」を応援します

●15~49歳までの、働きたい悩みを抱えている人と、その家族を支援しています。

サポステ

いが若者サポートステーション

☎FAX/0595-22-0039 ✉iga-saposute@npo-enor.jp

伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀3階

■開所日/月~金 9:00~17:00 (17時以降、土・日・祝も対応)

サポステ出張相談(ハローワーク伊賀)

4月18日 ㊤13:00~16:00



数字で見る伊賀市の福祉

令和5年2月末現在（前月比）

伊賀市の人口	▶ 86,976人（-163人）	※伊賀市の人口、65歳以上の高齢者及び高齢化率、75歳以上の高齢者及び後期高齢化率には、外国人住民を含めています。 ※75歳以上の高齢者の全人口に占める割合を、後期高齢化率と表記しています。 ※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。
65歳以上の高齢者	▶ 29,264人（-60人）	
高齢化率	▶ 33.6%（-0.1%）	
75歳以上の高齢者	▶ 15,930人（+27人）	
後期高齢化率	▶ 18.3%（±0%）	
介護保険認定者数	▶ 6,149人（-47人）	

あなたのまちの
ふれあい・いきいきサロン No.191

いがまち「サロン交流会」

メンバー数／36名
場所／西柘植市民センター
開催頻度／年1回

いがまち地域では、年に1回「サロン交流会」と銘打ってサロン運営者を対象に、楽しいレクリエーションやゲームの紹介や進め方など講師を招いて開催しています。

今年度は、サロンの運営に深くかかわっている民生委員児童委員の改選の年度でもあり、新たに代表となった方の参加が多く見受けられました。

最初は、伊賀市地域包括支援センターの保健師による講義でした。サロンには参加者も運営スタッフも元気にする効果があること、また地域の見守りやつながりにも大きな役割があることを改めて学びました。後半の、伊賀市レクリエーション協会の稲森講師によるレクネタの紹介と実践では、簡単な準備物を使うだけで、こんなに大笑いできるのかと思うほど盛り上がる楽しいひと時となりました。パワーアップした参加者の皆さん、この後はそれぞれの地域で気持ちも新たに頑張る、とおっしゃっていました。

我ら！ふくし
レンジャー No.200

いわな やすたけ
岩名 泰岳さん
(35歳)
島ヶ原在住

●活動を始めたきっかけ

ドイツで美術を学んで帰国し、地元で根差した活動がしたいと考え、島ヶ原に拠点を定めました。平成25年、同級生や同世代の若者が集まり、『芸術+地元』をコンセプトに何かできないかと結成したのが蜜ノ木です。

●活動内容

蜜ノ木の画家として展覧会を主催し、島ヶ原を題材に描いた作品の展示とともに歴史を紐解く古い書物などを展示したり、既存のプロジェクトと一緒にイベントやマルシェに参加してきました。平成27年からは、1200年以上親しまれてきた“春を呼ぶ”と伝わる行事、正月堂「修正会」に蜜ノ木講として毎年参画しています。今年3年ぶりに行われた祭事では、直接会って触れ合う楽しさを実感しました。

●今後の抱負

伝統を守りつつ、新しい時代に合った場を創り出していきたいです。この10年でメンバーも入れ替わるなか、若い人や里帰りした人、県外から興味を持って来てくれる人も参加しやすい場になればいいですね。自然豊かな環境で活動に参加してもらうことが貴重な体験となり、継承の一助になればと思っています。

編集・発行

伊賀市社会福祉協議会

本部	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002
上野	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123
いがまち	〒518-1313 馬場 1128番地1 阿山保健福祉センター ☎0595(45)1012 / FAX0595(45)1050
島ヶ原	〒519-1711 島ヶ原 4743番地 島ヶ原福祉センター「清流」 ☎0595(59)3132 / FAX0595(59)3145
阿山	〒518-1422 平田 656番地の1 大山田福祉センター ☎0595(47)0780 / FAX0595(46)1165
大山田	〒518-0226 阿保 1988の1番地 青山福祉センター ☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555
青山	



編集後記

表紙の地域福祉コーディネーターは、地域に応じたつながりづくりや、参加・交流・学びの機会を生み出すコーディネートを行う、専門スタッフです。6拠点に13人配置しており、各担当エリアについては、次号以降でご紹介させていただきますので宜しくお願いします。

●この広報誌は、社協会費、有料広告費等により発行しております。

No.205 4月号

8